【R4】木造たてもの調査室（空き家診断）（有限会社E.N.N.）

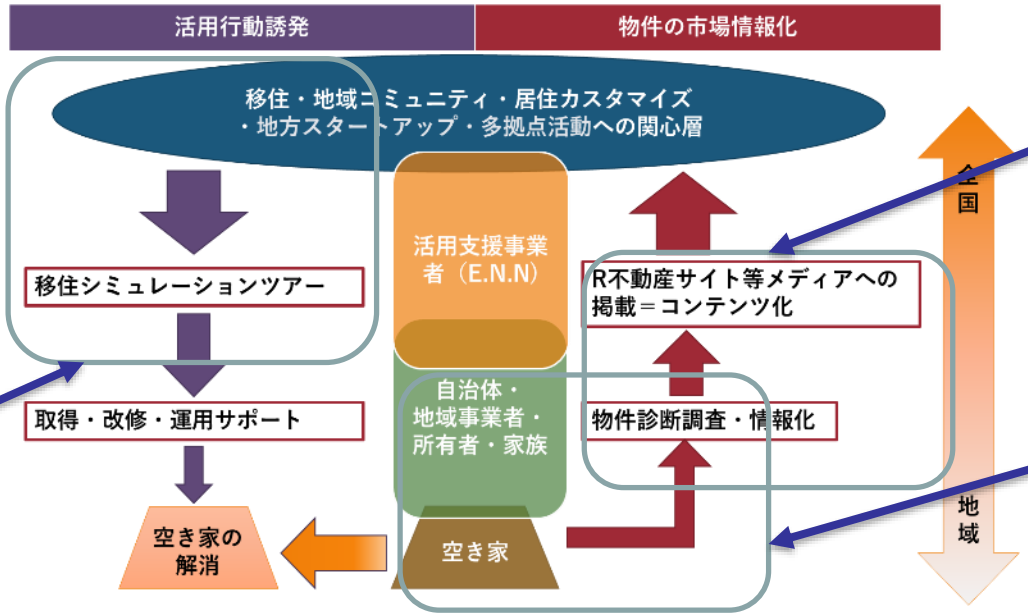
別添資料4

石川県珠洲市、金沢市において、空き家所有者に対して空き家解消の行動（活用・売却・譲渡）を誘発するために、「診断」を入り口に専門家の支援を行い、移住や観光まちづくりを出口とする活用の担い手につなぐことを考え、今回の事業では、入り口である「診断」のハードルを下げる「空き家診断ナビアプリ」の試作がまとまり、移住・観光まちづくり活用に向けた市場リサーチが行われた。

■ 事業概要

事業部門	部門2 住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業
事業地域	石川県　金沢市　珠洲市
背景・課題	所有者が決断して始まる空き家活用支援には、入り口としてファクトを情報化する「診断」から出口の「活用」までを結びつけるサポートが必要であるが、それらの段階で行動・判断を支援する方法や活用像が見えないことが行動につながっていなかった。
目 的	スタートとなる「診断」「物件の情報化」への所有者の行動を誘発し、その後の活用イメージ、移住活用者の存在に向けて必要な空き家解消の行動判断をナビゲートすることを目的としている。
連携する団体・役割	珠洲市、地域移住者、各種不動産、建築団体

移住・観光活用リサーチ
③（調査モデル事例の公開方法としてのツアー試行）
⑤（調査事例のプロセス公開と報告のサイトのリリース）



診断軽量版の作成
①(調査フローの整理・シンプルな定型化）
②（モデル調査の実施）

診断ナビアプリ試作
④（調査フローの一部をオープンにする診断チェックリストの公開、ウェブサービスの開発）